



# 森林レンジャーがゆく

みんなの学びの舎

(81)

♪山 山 緑は深い奥多摩の 村里  
つづる桜花 けだかい香りにつま  
れて たつは我等の学びの舎 星  
星 高明山のかなたより 澄む秋川  
に影うつす 理想の光いや高く 窓  
べに望む学びの舎 ♪

これは旧小宮小学校の校歌です。校庭にある記念碑にはこの校歌が刻まれています。小宮に行くと、今の風景を見ながら地域の方に教えていただいた昔の自然や人の暮らしを想像して、心の中でこの歌を詠んでいます。

明治6年に開校し、平成24年3月に138年の歴史に幕を下ろした小宮小学校は、同年9月からは、小宮ふるさと自然体験学校として多くの方が利用しています。森林レンジャーあきる野は、市内の小学生を対象に小宮地区自然体験学習を行っています。毎年、各小学校から1つの学年が小宮を訪れるので、これまでに市内の小学校に通う小学生約4700人が私たちと森を歩き、郷土の自然を学んでいることとなります。

地域の自然と施設を活かした体験学習では、出会う自然の面白さや素晴らしさだけではなく、人への被害を防ぐために設置された箱罟や電気柵、野生動物の痕跡などを通して、自然豊かな所で人が暮らす大変さや現状も伝えています。地域の方に出会えれば、様々なお話を伺うことも



あります。特に、市の東部から小宮を訪れる小学生は、自分が暮らす地域との違いをたくさん発見し、多様な自然や人の暮らしがある郷土への理解を深めています。

体験を終えた子ども達が「ここのあきる野市なの?!」「自然が嫌いだったけど好きになったよ」「自然はあきる野の宝だね」「生き物ってすごいね」「人も生き物も大変なんだね」「また来たい!」と瞳をキラキラさせて話してくれることがあります。

形を変えても小宮小学校には、自然や地域の学びの舎として多くの子ども達が訪れています。この学びの舎が、市内の子ども達のもう1つの母校のような存在になってくれることを願いながら、子ども達のより良い体験のために小学校の先生と連携し、取り組んでいきたいと思えます。地域の皆さんいつもありがとうございます。今年度もよろしくお祈りします!(加瀬澤)